

～「SDGs」とは？

「プラスチック汚染の脅威・大量消費社会の限界」について考える～

3年（ ）組（ ）番（ ）

☆ 今日目標

1. SDGsとは何かを説明することができる。
2. 現代社会の課題について新たな視点を得て、自分の考えを述べることができる。
3. メモをとりながら動画資料を見て、自分の意見を述べることができる。

○今日の活動

①海鳥の胃袋から大量に見つかるプラスチック片。現代社会のプラスチックの大量消費によってどのような問題が生じていると考えられるか。次の動画を見ながら、数値データやキーワードのメモをとり、自分の意見を書きなさい。

動画メモ

動画①を見て考えたこと。

②深海から北極まで至る所に広がるプラスチック。中でも波や紫外線の影響で5ミリメートル以下に砕けた小さなマイクロプラスチックや、1マイクロメートルを切るようなナノプラスチックは、世代を越えて人と環境そして生態系へどのような影響をもたらすのか。次の動画を見ながら、数値データやキーワードのメモをとり、自分の意見を書きなさい。

動画メモ

動画②を見て考えたこと

③「使い捨て」からの脱却をめざして、世界が動き出している。行動によって未来を変え、循環型の社会システムを作ろうという動きが世界中で始まっている。今、どのような取り組みが誰によってなされているのか。次の動画を見ながら、数値データやキーワードのメモをとり、自分の意見を書きなさい。

動画メモ

動画③を見て考えたこと

④意見文「持続可能な未来の実現に向けてどうすべきか」を書く。
 こうした課題について、「分岐点」といわれているのが2030年。つまり、このまま問題を放置すれば、2030年には取り返しのつかない未来へと進んでいくことになります。どうすればこの危機を回避し持続可能な未来を実現できるのか。あなたの考えを書きなさい。

これが、6/16の意見文作成のための材料となります。

本時の振り返り ～今日の活動について自己評価して下さい～

本日の学習内容について	もう少し ←————→ できた				
	1	2	3	4	5
① SDGsの内容に興味を持つことができた	1	2	3	4	5
② 現代社会の課題について深く考えるようになった	1	2	3	4	5
③ 多くの意見から問題点を整理し、論点を明確にして自分の意見を述べることができた。	1	2	3	4	5

次回5月12日（木）のテーマは「脱炭素社会」です。

3年（ ）組（ ）番（ ）

☆ 今日目標

1. 化石燃料の使用、大量消費により急速に進む地球温暖化について知り、それによる気候変動が社会にどのような影響を及ぼすかについて知る。
2. 脱炭素社会に向け、社会はどのように変革すべきか、自分はどうか行動すべきかについて考える。
3. 現代社会の課題について新たな視点を得て、自分の考えを述べることができる。

○今日の活動

①温暖化が進み、気温が上昇することによって、どのような問題が生じているのか、人類はどうしていかなければならないのか。

次の動画をメモをとりながら見て、自分の意見を書きなさい。

動画メモ

動画①を見て考えたこと。

②このまま温暖化が進んでいけば2100年の地球には新たにどのような問題が生じるのか。

次の動画をメモをとりながら見て、自分の意見を書きなさい。

動画メモ

動画②を見て考えたこと。

③脱炭素社会を実現するには、どのような社会の変革が必要か。脱炭素革命を求める若者を見て何を感じたか。

次の動画をメモをとりながら見て、自分の意見を書きなさい。

動画メモ
動画③を見て考えたこと

④意見文を書く。

こうした課題について、「分岐点」といわれているのが 2030 年。つまり、このまま問題を放置すれば、2030 年には取り返しのつかない未来へと進んでいくことになります。どうすればこの危機を回避し持続可能な未来を実現できるのか。自分には何ができるのか。あなたの考えを書きなさい。

--

本時の振り返り ～今日の活動について自己評価して下さい～

本日の学習内容について	もう少し ←————→ できた				
	1	2	3	4	5
① 脱炭素社会に興味を持つことができた	1	2	3	4	5
② 現代社会の課題について深く考えるようになった	1	2	3	4	5
③ 多くの意見から問題点を整理し、論点を明確にして自分の意見を述べることができた。	1	2	3	4	5

次回5月24日(火)は、プラタナス講演会「2030年問題について語る」講師は、堅達京子氏(NHKエンタープライズ・エグゼクティブプロデューサー)です。

課題:事前配付資料を読んで、質問内容を考えてきてください。

3年（ ）組（ ）番（ ）

☆ 今日の目標

1. 堅達京子先生のレクチャーをメモをとりながら聞いて、講演内容を理解できる。
2. レクチャーの内容を参考にして、論文作成に必要な新たな視点を得ることができる。

○今日の活動 「堅達京子先生によるレクチャーを聞いて考えよう」

- 1 堅達先生のレクチャーメモ プラタナタイム講演会 ～「2030問題について語る」～

(キーワードや数値データ、論点など自分の論文作成のためにメモをとりましょう)

2 レクチャーを受けて、800字意見文テーマ「2030問題～持続可能な未来～」に入れられそうな自分の意見を書く。

① 本時の振り返り 今日の活動について自己評価して下さい

レクチャーについて	もう少し ←————→ できた				
① レクチャーの内容に興味を持つことができた	1	2	3	4	5
② 「社会の課題」について深く考えるようになった	1	2	3	4	5
③ 多くの意見から問題点を整理し、論点を明確にするようになった	1	2	3	4	5

② 今日の講演を聞いて、感じたこと・考えたことについて自由に記述して下さい。
 ※堅達先生にお送りするので、丁寧な字で書いてください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

次回6月16日(木)は論点整理(文章を読む・調べる)です。

※これまでのビデオや資料のまとめではなく、自分の意見を書く。自分の意見を補完する資料を集める。

文章構成シート 意見文テーマ「2030年問題～持続可能な未来の実現～」について

ビデオ学習2回・堅達先生講演会・論文・新聞記事の内容を踏まえて構成する

100字程度	600字程度			100字程度	題名
おわりに	結論①	本論		はじめに	
		反論	根拠		
					3年 組 番 名前

3年()組()番()

☆ 今日の目標

1. これまでの学習内容を参考にして、論文を作成できる。

○ 論文のテーマ

「2030年問題～持続可能な未来の実現～」について
 ビデオ学習2回・堅達先生講演会・論文・新聞記事・インターネット調べの内容を踏まえ、持続可能な未来の実現に向けてどうすべきかについてその理由とともに自分なりの意見を述べよ。(800字程度)

[注意]

- ・意見文のタイトルは自分で考えて自由に設定し、枠の外に記入する。
- ・年・組・番号・名前も枠の外に記入する。
- ・原稿用紙は縦書きで使用。(800字以上になる場合は裏面を使用すること)
- ・原稿用紙の使い方(右ページ参照)に従って記入すること。
- ・この意見文は評価の対象になります。誤字脱字に気をつけるとともに、丁寧な字で書くようにすること。
- ・次回は、文理混合クラスでの意見文読み合わせとなります。他の生徒もこの意見文を読んで、意見を述べることとなります。

本時の振り返り

- ① 今日の活動について自己評価して下さい

レクチャーについて	もう少し ←————→ できた				
① 複数のデータや資料を関連付けて考えるようになった	1	2	3	4	5
② 多くの意見から問題点を整理し、論点を明確にするようになった	1	2	3	4	5
③ 「社会の課題」について深く考えるようになった	1	2	3	4	5

次回6月30日(木)は論文作成その2です。

次回に論文を完成させることができるように準備しておくこと。

「研究Ⅲ」第2時 第1クール「社会のあり方を考える」

「SDGs」とは何か？「プラスチック汚染の脅威・大量消費

社会の限界」について考える。

授業日：4/28（木）7限

1 目標

1. SDGsとは何かを説明することができる。
2. 現代社会の課題について新たな視点を得て、自分の考えを述べるすることができる。
3. メモをとりながら動画資料を見て、自分の意見を述べるすることができる。

2 配布物

- ・振り返りワークシート（B4版横1枚）

3 事前準備（教員）

- ・パワーポイントファイル（0428SDGs・マイクロプラスチック問題.pptx）をPCにコピーしておく（容量約415MB）

4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
5	<p>【導入】（5分）</p> <p>○第1クールのテーマを確認 「社会のあり方を考える」</p> <p>○「SDGs」を紹介する、SDGs（持続可能な開発目標）とは、“2030年までに達成すべき17の目標”「SDGs（エスディーゼーズ）」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。17の目標と169のターゲットからなっています。</p>	
37	<p>【展開1】（トータル25分）</p> <p>○その一例として、今日はプラスチック汚染の脅威・大量消費社会の限界について考えていきましょう。次の動画をメモをとりながら見て、自分の意見を書きなさい。</p> <p>ビデオ①（5分）を視聴させる。考えたことを書かせる（3分）</p> <p>ビデオ②（5分）を視聴させる。考えたことを書かせる（3分）</p> <p>ビデオ③（5分）を視聴させる。考えたことを書かせる（3分）</p> <p>【展開2】（12分）</p> <p>○こうした課題について、「分岐点」といわれているのが2030年。つまり、このままこの問題を放置すれば、2030年には取り返しのつかない未来へと進んでいくこととなります。どうすればこの危機を回避し持続可能な未来を実現できるのか。あなたの考えを書きなさい。</p> <p>ワークシートに記入させる（5分）</p> <p>グループ内で発表し合う。（7分）</p>	<p>・情報量が多いので、メモをとりながら、ビデオを見るように指示する。</p> <p>・意見文の作成とグループ内での共有を行わせる。</p>
3	<p>【まとめ】</p> <p>○本日の活動を振り返る</p>	<p>・振り返りを記入する。</p>

「研究Ⅲ」 第3時 第1クール「社会のあり方を考える」

「脱炭素社会」について考える。

授業日：5 / 12 (木) 7限

1 目標

1. 化石燃料の使用、大量消費により急速に進む地球温暖化について知り、それによる気候変動が社会にどのような影響を及ぼすかについて知ることができる。
2. 脱炭素社会に向け、社会はどのように変革すべきか、自分はどのよう行動すべきかについて考えることができる。
3. 現代社会の課題について新たな視点を心得、自分の考えを述べるることができる。

2 配布物

- ・ワークシート (B4版横1枚) ・講演会事前配付資料 (B4版両面1枚)

3 事前準備 (教員)

- ・パワーポイントファイル (0512食料・水問題.pptx) をPCにコピーしておく (容量約415MB)

4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
1	【導入】 (5分) ○前回は「プラスチック汚染の脅威・大量消費社会の限界」について学習しました。まずはこの映像を見てみましょう。 導入ビデオ	
3.6	【展開1】 (トータル25分) ○今日は脱炭素社会について考えていきましょう。 次の動画を見て、メモをとり、自分の意見を書きなさい。 ビデオ① (5分) を視聴させる。考えたことを書かせる (3分) ビデオ② (5分) を視聴させる。考えたことを書かせる (3分) ビデオ③ (5分) を視聴させる。考えたことを書かせる (3分) 【展開2】 (12分) ○こうした課題について、「分岐点」といわれているのが2030年。 つまり、このまま問題を放置すれば、2030年には取り返しのつかない未来へと進んでいくこととなります。どうすればこの危機を回避し持続可能な未来を実現できるのか。あなたの考えを書きなさい。 ワークシートに記入させる (5分) グループ内で発表し合う。(7分)	<ul style="list-style-type: none">・情報量が多いので、メモをとりながら、ビデオを見るように指示する。・意見文の作成とグループ内での共有を行わせる。
8	【まとめ】 ○本日の活動を振り返る 今回はプラタナスタイム講演会です。 講師は堅達京子 (げんだつきょうこ) さん (NHKのエグゼクティブプロデューサー) です。 事前配付資料を読んで、質問内容を考えてきてください。	<ul style="list-style-type: none">・振り返りを記入する。

「研究Ⅲ」第5時 第1クール「社会のあり方を考える」

授業日： 6 / 16 (木) 7限

1 目標

- ・「持続可能な未来の実現」について論文の構成を考える
- ・論文・新聞記事を読んで、意見文作成のための論点整理を行う。
- ・意見文の構成を考え、次回の800字意見文作成の準備をする。

2 配布物

- ・ワークシート片面（B4版）論文作成のためのワークシート
- ・文章構成シート両面（B4版）裏面に論文の書き方について書いてある
- ・論文①「脱プラスチックへの挑戦」
- ・論文②「人新世の資本論」
- ・新聞記事
- ・生徒用タブレット（調べ学習に使う場合）

3 事前準備（教員） なし

4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
1	○本日の目標の説明	
2 4	○新たな資料を読み、これまでの資料も踏まえて自分の視点を整理させる →資料に関してはタブレットを用いて調べても良い。	・新たな資料を読む、これまでの内容を整理する。
2 0	○6 / 23 (木) 800字意見文作成に向けて文章構成シートを記入させる。 時間的余裕がないため、原稿用紙・次回のワークシートも配布する。 1学期の研究Ⅲで「聞いたこと」・「見たこと」・「読んだこと」 「調べたこと」を元に文章構成シートを書き入れる。 ○今後の活動の流れを説明する →次回、45分で800字の意見文を作成します。	・振り返り（ワークシート表面）を記入する。 ・必要なメモを取れるよう筆記用具、藤島ノート（下敷き用）を持参

5 次時の展開 「800字意見文作成」

テーマ 「2030年問題～持続可能な未来の実現～」について

「研究Ⅲ」第6時 第1クール「社会のあり方を考える」

授業日：6/23（木）7限

1 目標

1. これまでの学習内容を踏まえた上で、自分の意見を論理的に述べることができる。

2 配布物

- ・ 作文ワークシート（B4版横1枚）

3 事前準備（教員）

- ・ 特になし

4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
2	○作文用ワークシートを配付する。	
40	<p>【展開】（40分）</p> <p>○論文のテーマ 「2030年問題～持続可能な未来の実現～」について ビデオ学習2回・堅達先生講演会・論文2本・追加資料の内容を踏まえ、持続可能な未来の実現に向けてどうすべきかについてその理由とともに自分なりの意見を述べよ。 (800字程度)</p> <p>[注意]</p> <ul style="list-style-type: none">・意見文のタイトルは自分で考えて自由に設定し、枠の外に記入する。・年・組・番号・名前も枠の外に記入する。・原稿用紙は縦書きで使用。 (800字以上になる場合は裏面を使用すること)・原稿用紙の使い方（右ページ参照）に従って記入すること。・この意見文は評価の対象になります。 誤字脱字に気をつけるとともに、丁寧な字で書くようにすること。・今回は、文理混合クラスでの意見文読み合わせとなります。 他の生徒もこの意見文を読んで、意見を述べるようになります。	※今回作成した論文は評価の対象となることを伝える。
3	○提出について確認する 書き切れない者は来週までに完成させる (欠席者には来週までに完成させておくよう必ず伝える) <p>○次時の予告 移動クラスを確認させる。 文理クラスを解いて読み合いをするので、絶対に完成させて持参するように伝える。</p>	

5 次回の展開

6/30（木）サイエント・ダイアログ（文理クラスを解いて読み合わせ）

「研究Ⅲ」第7時 第1クール「社会のあり方を考える」

授業日：7/12（火）4限

1 目標

1. 他者の意見文を読み、内容を理解した上で、適切な質問を考えることができる。
2. 自分の意見文に対する質問に対して、適切に返答することができる。

2 配布物

- ・意見文を書いた作文ワークシート（B4版横1枚）

3 事前準備（教員）

- ・文理混合班一覧表（1～4組／4～10組で半分ずつ入れ替え）
- ・付箋紙2色（90枚×2冊×2色）

4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
3	○4～5人の班ごとに着席させる。 (文理が半分ずつになるように席を板書で指定する)	
40	<p>【導入】 ○サイレント・ダイアログの説明（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイレントダイアログとは紙上対話 ・まず、A色の付箋に意見文を読んだ上で「質問」①～③のどれかを書く。付箋に記入者の名前を書く。 <ol style="list-style-type: none"> ①褒める＋詳しく説明や根拠を求めるもの ②褒める＋具体的な例示を求めるもの ③褒める＋別の視点や意見を提示するもの <p>→これを各班内で人数分繰り返し、チーム内で意見文を読みあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人のところに意見文が戻ってきたら、貼り付けられたA色の付箋に対して、B色の付箋にそれぞれ「応答」を書く。 ・付箋は全て裏面に貼っておくこと。 <p>【展開】 ○サイレント・ダイアログ実施（35分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の説明を聞く ・付箋に記入者の名前を書くことを指示する。 ・A色付箋を書く×3回 ・B色付箋で返答する
2	<p>【次回の連絡】 次回も本日と同じ教室、同じメンバーで議論を行う。 今回は、付箋に書いてある質問について口頭で意見発表を行い、その後議論をする。</p> <p>※意見文は付箋を貼り付けたまま、次回持ち寄る。汚したり、なくさないようにすること。なくした場合書き直しとなる。</p>	

5 次回の展開

今回と同じ教室に集合し、同じメンバーで意見交換を行う。

「研究Ⅲ」第8時 第1クール「社会のあり方を考える」

授業日：7/20（水）4限

1 目標

1. 他者の意見文を読み、内容を理解した上で、適切な質問を考えることができる。
2. 自分の意見文に対する質問に対して、適切に返答し、議論を深めることができる。

2 配布物

- ・意見文を書いた作文ワークシート（B4版横1枚）裏面に付箋が貼ってあるもの

3 事前準備（教員）

- ・文理混合班一覧表（1～4組／5～10組で半分ずつ入れ替え）

4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
3	○前回と同じ席に4～5人の班ごとに着席させる。 （文理が半分ずつになるように席を板書で指定する）	
30	【展開】議論と意見の交換を口頭で行う。 ○議論・意見交換の説明（5分） ・付箋に対して、自分の意見文のプレゼンテーションを行う。 その人の意見文に対して、更に質問や疑問、自分の感想・意見を述べあって、議論を行う。 →これを各班内で4～5回（人数文）繰り返す。	・意見文の補足説明を口頭で行い、議論する。
10	・意見文の原稿用紙に、加筆・修正を行う。 【付箋が貼ってある意見文は自分の教室に持ち帰り、藤島ノートにファイリングする】	・意見文の回収の説明
2	【次回の連絡】 次回8月特別時間割は、デザイナーベビーの学習を行います。	

5 次回の展開

- 8月特別時間割1回分：デザイナーベビーの学習を行います。